

平成29年度地方創生拠点整備事業対象

(仮称) にぎわい創出中央公民館複合化事業

町の中心に位置する中央公民館を、仕事を生み出し、交流を生み出し、生きがいを生み出し、これらの活動をコーディネートする、まちの賑わいを創出する地方創生の拠点施設として複合化整備をします。

1階

ロビー及び団体室をオープンスペースにし、いつでも集まりや相談ができるミーティングルームにします。

①観光情報の発信、案内、物販を行う「観光ルーム(にぎわい創出)」を設置。

常時、観光客の受入れ対応ができる観光案内・特産品販売の窓口を設置。商品開発の研究、団体育成、観光商品の創出を含め、観光の流入人口を増やし経済効果につなげます。観光ボランティアや郷土歴史研究家を育成し、おもてなし強化を図り観光の推進拠点とします。

②起業・創業を支援する「商いルーム(しごと創出)」を設置。

不動産業や空き家管理業等と連携し、起業や創業を望む人や移住者に対し、空き家(店舗)の紹介や利活用をする際の支援策(金融商品やリフォーム助成等)を提示し仕事の創出を促進し、仕事と場をつなげる拠点とします。

2階

③「観光・商い共通ルーム」

調理室と会議室の壁を取り払い、調理室と会議室を共有スペースにし、町の商品開発や特産品づくり、起業を目指す人の商品・料理の試作品づくりなど多様な賑わい起こしの研究の場とします。

地下

④住民活動を支援、人材育成を行う「まちづくりルーム(じんざい育成)」を設置。

趣味や文化活動を支援するほか、まちづくりに関心のある住民、団体づくり、NPOの育成など人材育成を行うほか、高齢者の経験と活力を生かし、地域の課題解決に取り組む担い手づくりの場を創出し、人口減少や少子高齢化に対応する人材育成の拠点とします。部屋の側面を可動式にし、イベント時の映像上映、芸術家特設展、観光や商店街のイベントアトラクションの活動の場にするなど人と賑わいをつなぎます。

※交付金の対象外ですが、中央公民館の複合化とともに老朽化している部分を改修します。

1階 事務室に役場内の生涯学習課を移設、トイレ、茶室を改修。

2階 第1・2研修室、創作室、トイレを改修。

エレベータ新設、屋根改修防水、外壁改修、空調換気設備工事(上記ルームの空調は交付金対象)

※概算 全工事費用約3億7千万円、交付金対象費用約1億4千万円、交付金約7千万円